

# 学習と地域及び地域企業等連携した広域的なコミュニティ・スクール

## 概要

地元企業や関係機関・様々な人々の協力を得、協働しながら地域や地元の企業のPRを行い、それらを教科書にない教材や授業に発展させ、活動やその成果を地域のみならず広域的に広げていく新しい形のコミュニティ・スクール活動を実施している。

## 取組の具体的内容

**(地域企業イベントに参画)** 本校は以前より共育コミュニティが先進的で盛んな地域であり、平成29年度よりコミュニティ・スクールを導入しているが、その基盤はすでにできており、それがさらに磨きがかかってきた状態である。現3年生は昨年度、生活科学習の一環として、和歌山市で最も駅に近い学校として遠足などでもよく利用する南海加太線で、学校の前を走る「めでたい電車」に関心を持った。南海電鉄職員による出前授業で、制作のきっかけや仕組み、仕様に刺激を受け、生活科の授業とコミュニティ・スクールの一環として本校の地域をPRするものを考えていくようになった。さらに、校区の名物で本校の愛唱歌である「ぼくたち西脇のこどもやでえ」の中でも歌われる、しらすをPRするため、仮想のしらす電車を走らそうと電車を段ボールで組み立て発表したところ、各メディアにも取り上げられ、そのご縁で平成30年11月23日の「めでたい電車の結婚式イベントセレモニーめでたいウェディング」に3、4年生が招待された。そこで総合的な学習の一環として4年生児童が作詞・作曲した、めでたい電車「さちとかい」の歌を披露し、独自で作ったチラシ広告や絵をプレゼントした。(めでたい電車車内に一定期間、掲示) これらの地域を越えた、地元企業との連携を含めた広域的なコミュニティ・スクールの功績を認められ、南海電気鉄道株式会社より作詞・作曲に対しての感謝状をいただいた。また平成31年1月26日に、めでたい電車の新婚旅行にも3、4年生が招待され、車内ではふるさとにちなんだクイズや授業をし、車内放送体験や「さちとかい」の歌も合唱した。“旅行先”となる南海難波駅では構内放送の体験や、社会科授業(ふるさと学習)の一環として和歌山や西脇地区のPR活動やアンケート調査を行った。これらの積極的な地域学習の他にも防災教育発信や和歌山市の環境浄化など各課題に全力に取り組むことで学校・地域愛に満ちた行動力を育てている。他の学年もJ Aや漁協、地元の農場の社会見学や地元企業を題材とした授業発表や磯の浦観光協会に協力して清掃活動や防波堤に壁画アートを制作する一方、地域には色々な面で協力いただき地域とともに共育している。

## 取組の成果・課題(今後の展望)

活動を進めるうちに児童は社会や地域の関わり方や仕組みを理解し授業とリンクさせながら地域の人だけでなく社会のコミュニケーション能力をつけてきた、そして地域やふるさとについて知るとともにふるさとや地域を愛し誇りに思う意識が醸成され、地域やふるさとに住み何かを成したいという意識が育ってきたと思われる。将来、地元の起業家が育てば頼もしいし、夢は大きく3、4年生の望みは、しらす電車の本物をプロデュースし路線に走らせることを実現できたらと考えている。

## 問い合わせ先

和歌山市立西脇小学校 (Tel:073-455-0118)

作成者：所属 西脇小学校長 氏名 田野岡 教彦